

シラバス詳細照会

授業情報			
開講年度	2022年度	開講箇所	大学院教育学研究科
科目名	数学科教育学研究指導(D-1)(高木)		
担当教員	高木 悟		
学期曜日時限	春学期 無その他		
科目区分	研究指導(博士後期)・教科教育(数)	配当年次	1年以上
使用教室	高木悟研究室	キャンパス	早稲田
科目キー	372B150403	科目クラスコード	01
授業で使用する言語	日本語		
授業方法区分	【対面】ハイブリッド(対面回数半数以上)		
コース・コード	EDUX799G		
大分野名称	教育学		
中分野名称	教育学		
小分野名称	卒業論文/研究、修士/博士論文		
レベル	博士レベル	授業形態	研究指導
		単位数	0

シラバス情報		最終更新日時: 2022/02/28 15:43:20				
授業概要	テスト理論, ファジ理論, ラフ集合理論などに基づく教育情報の分析法, 評価法に関する研究指導をおこなう。また, 受講者の論文作成や学会発表による研究者としての能力を育成する。対面とオンラインを交互に組み合わせる。対面授業時は状況に応じてzoomで生中継し, オンライン授業時は基本的にzoomのリアルタイム形式でおこなう。 この科目に続いて「数学科教育研究指導(D-2)(高木)」を履修すること。					
授業の到達目標	テスト理論, ファジ理論, ラフ集合理論などに基づく教育情報の分析法, 評価法に関する研究が自立的に可能となる。論文作成や学会発表など研究者としての能力が高まる。					
事前・事後学習の内容	テキストを決め, 毎回セミナー形式で演習・討論をおこなう。セミナーで発表するための準備に3時間程度を要する。					
授業計画	#1. ガイダンス #2~#15. テスト理論・ファジ理論・ラフ集合理論研究指導 機会があれば学会等で研究発表する。					
教科書	受講者と相談して決める。					
参考文献	「ファジ理論 基礎と応用」山下元監修 瀧澤武信編著 共立出版 「ラフ集合と感性」森典彦他著 海文堂出版 「Rough Sets: Theoretical Aspects Of Reasoning About Data」Z. Pawlak著 Springer					
成績評価方法	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">割合</td> <td>評価基準</td> </tr> <tr> <td>平常点評価: 100%</td> <td>演習での発表, 準備, 討論の態度などで評価する。</td> </tr> </table>		割合	評価基準	平常点評価: 100%	演習での発表, 準備, 討論の態度などで評価する。
割合	評価基準					
平常点評価: 100%	演習での発表, 準備, 討論の態度などで評価する。					